

オオアカウキクサ

Azolla japonica Franch. et Savat.

アカウキクサ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

湿田の乾田化、湿地の有効利用などで生育環境が激減している。(現況:V2-)

形態

アカウキクサより大型で葉の長さが2mmに達し、淡紅色を呈する。根には初め毛がなく、成長するにしたがい毛が増える。この根毛は早く脱落するので毛のない時期がある。

国内分布

本州、四国、九州、種子島。

県内分布

内浦区、中能登区、口能登区。

生態など

多年生の浮遊性水生植物で、夏季の葉の色は緑色に近いが冬季は明るい桃色がかった赤色に変わる。好陽地性、繁殖は茎の分枝と孢子による。孢子は秋季に熟し、水により散布する。

生育環境

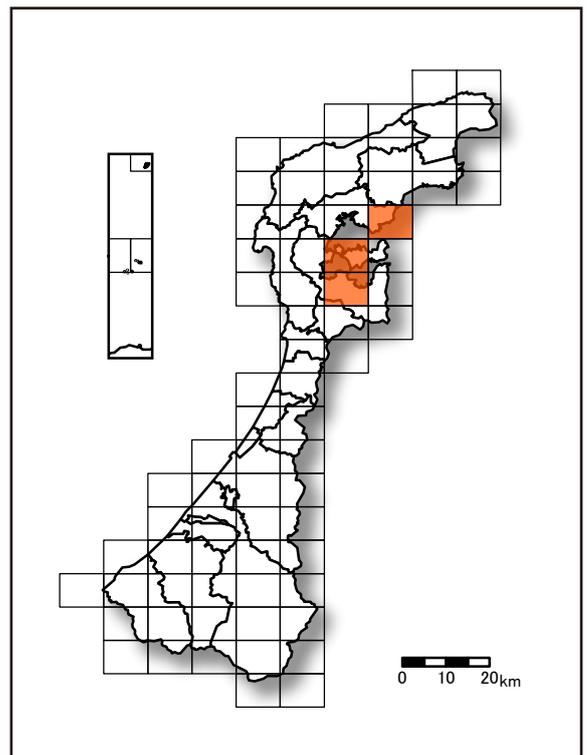
湿田、池沼、城濠などに生育する。

危険要因

土地造成(耕地転用)、管理放棄、農薬汚染。



小野ふみゑ・2005年1月8日・七尾市



県内の分布